

わったー しまぬ はーりーや みぐとぅな むん。

わたしたちの故郷のはーりーは、見事なものだ。🔊



はーりーは、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。

沖繩で行われるはーりー行事の中でも「那覇はーりー」は最大規模で、およそ600年の歴史があるといわれています。

ちゅーや はーりー、まじゅーん んーじが  
いかな。  
今日のはーりーの日。  
いっしょに見に行こう。

いー。  
まじゅん いか。  
いいですよ。  
いっしょに行こう。



わんにん そーてい  
つんじ くいみそーれー。  
わたし  
私も連れていってください。



んかしえー、はーりーぬ ひーや  
ゆっかぬひーに うくなとーたん。  
昔は、はーりーの日は、  
(旧れきの) 5月4日に行っていたんだよ。



### 中南部各地の行事

中南部の各地域にはいろいろな行事があり、その地域に住む人々が大切に守り続けてきました。あなたの地域には、どのような行事がありますか。

しまくとぅば ちかてい、しまぬ しちびんかい んーな まじゅーん  
いかな。

しまくとぅばを使って、故郷のお祭り(行事)に、みんなといっしょになって参加しよう。



↑那覇大つなひき



↑ししまいフェスティバル



↑全島えいさー祭り



↑与那原大つなひき



↑海神祭(座間味村)



↑糸満はーれー(※糸満では、はーれーと言います。)

わね しまぬ むらうどういや、でいきとん。  
わたしたちの島の村おどりは、見事なものだ。🔊

むらうどい（村おどり）は、豊作や村の人々の安全を願って行う祭りです。

ちゅーや むらうどうい  
いえーくとう、  
まんなな みーが いかー。  
今日は村おどりだから、  
いっしょに見に行こう。



わね そーてい いじ  
とーらしえー。  
わたし  
私を連れて行って下さい。



すやぬ うながみや、やんばるうっていや  
なー うりとる まつり いえーんどー。  
しおや  
塩屋のうながみは北部で有名な祭りなんだよ。



はーれーぬ  
でーじな うっさん。  
はーりーが、  
とてもおもしろいよ。



メ  
モ

### 北部の行事



↑塩屋のうながみ



↑安田のしぬぐ



↑安和のうしてーく



↑久志の若按司（久志区）



↑屋部の八月おどり

ぱーんとぅーや みゃーくんうていや なーだか  
まちゅりどーや。



ぱーんとぅーは、<sup>みやこ</sup>宮古で有名な祭りなんだよ。

ばんたが しゅまぬ ぱーんとぅーや、みゃーくぬ しゅまじゅーんどぅ あいう。  
わたしたちの島のぱーんとぅーは、宮古の島中にあります。

ばぬー さーり いき  
ふいーさーち。  
<sup>わたし</sup>私を連れて行って下さい。



きゅーや ぱーんとぅー やーば  
まーちゅき みーが いか。  
今日はぱーんとぅーだから、  
いっしょに見に行こう。



ぱーんとぅー

どろー どろが んーなんかい  
たっかーし、ぴゅとぅー  
ういきしゅまーい。  
どろを自分のからだにぬりたくって、  
人を追いかけて回る。



宮古の行事



<sup>ぐすくべかみく</sup>↑城辺上区のししまい



<sup>かわみつぼう</sup>↑川満棒おどり



↑うるかくいちゃー



<sup>まつばら</sup>↑松原のししまい



<sup>うがん</sup>↑やーます御願



↑池間のくいちゃー



<sup>ともり</sup>↑友利くいちゃー



↑友利ししまい

ばがー しゅまぬ ぷーりうや みぐうとう。

わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。🔊

ぷーりう（豊年祭）は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。集落ごとに行われる祭りで、八重山で行われる行事の中でも規模が大きく、人々が楽しみにしている行事です。

きゅーや ぷーりうどう  
やりきー、まーぞんさーり  
いきって みしら。  
今日は豊年祭だから、いっしょに見に行こう。

ばぬん、さーり き ひょーり。  
わたし  
私を連れて行って下さい。

なー うつあれーんどー。  
有名なんだよ。

しゅかあざぬ あんがまーぬ  
むんどーや うむっさんだらー。  
しかあざ  
四箇字のあんがまーの問答が、  
おもしろいよ。



あんがまー



×  
モ

### 八重山の行事



たきどうん  
↑竹富のたにどうり



いりかてすない  
↑西表祖納のしつまつり



ぼてろーま  
↑波照間のむしゅーま



くもーおまつがん  
↑小浜結願祭



かびら  
↑川平のまゆんがなし



↑ゆっかぬひー



しかあざふーれ  
↑四か字豊年祭 つなぬみん

ばーちまぬ うがんふとっていや みぐとぅな むぬどぅー。

わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。🔊

うがんふとってい（豊年祭）は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。

与那国で行われる行事の中でも、「どんた」や「棒おどり」はみんなが楽しみにしています。

すーや うがんふとっていどう  
あるんがら、まどぅん  
んにんてい だー。  
今日は豊年祭だから、いっしょに  
見に行こう。



たんでい あぬ  
すいひー とぅらしんに。  
わたし  
私を連れて行って下さい。



うとぅたがる まちりどぅ  
ないぶる。  
有名な祭りなんだよ。



「どんた」き 「ぶー つかい」  
あらーぐ、うむつぁんどー。  
「どんた」と「棒おどり」が、  
とてもおもしろいよ。



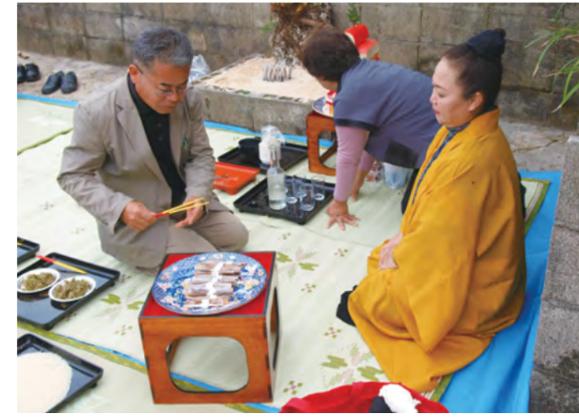
どんた

メモ

与那国の行事



↑ぶーぶどぅい（棒おどり）



↑たていうさい



↑みていうた



↑くぶらまちり



↑うがんふとってい

いいー そーぐわち れーびる。

良いお正月です。



一年の計は元旦がたんにありといわれます。元日には、家族が集まってきちんとあいさつを行い、一年のほう負などを述べ合うのも良いかもしれませんね。あなたの今年の正月はいかがでしたか？

いいー そーぐわち  
なたんやー。  
良いお正月になりましたね。

にんとうーぬ えーさち  
うんぬき やびら。  
年頭のあいさつをします。

くとうしん ゆたさるぐとっ うにげー さびら。  
今年もよろしくお祈いします。

北部 いいー そーぐわち やー。

にんとうーぬ えーすとっ  
しーが づちゃん。  
年頭のあいさつに来ました。  
いいー そーぐわちやー。  
良い正月です。

くたいん ゆたはるぐとっやー。  
今年もよろしくお祈いします。

宮古 かぎ しょーがちうぬどっ なりういっ。

しょーがちうぬ あいさつちう  
すーでい。  
年頭のあいさつをします。  
かぎ しょーがちうやー。  
良い正月です。

くとうしうまい たかさしー  
がーいーさーち。  
今年もよろしくお祈いします。



メ  
モ

八重山 いいー しょんぐわじうらー。



にんとうぬ あいさちう っさりんゆー。  
年頭のあいさつをします。  
いいー しょんぐわじうらー。 良い正月です。

にんとうぬ あいさちう っさりんゆー。  
今年もよろしくお祈いします。

与那国 いいー すんがていどっ ないぶるゆ。



にんとうぬ あいさいてい つありるん。  
年頭のあいさつをします。  
いいー すんがてい。 良い正月です。

くとうちん いーくとうゆ  
あらみとっらしわり。  
今年もよろしくお祈いします。



正月にうたわれるうたを調べてみましょう。

中南部 / 北部 「かじゃでいふう」 (かぎやで風)

あらたまぬ とっしに たんとう くぶ かじゃてい  
くくるから しがた わかく なゆさ。  
新年に炭とこんぶをかざって、心から若くなったような心持ちがする。

きゆうぬ ふくらしやや なをうにじゃなたている  
ちぶでいうる はなぬ ちゆちゃ たぐうとう。  
今日のうれしさは何に例えよう。つぼんでいる花がつゆに会って花が開いたようだ。

宮古 「とーがにあやぐ」

うぶゆ ていらしゆる まていだだき 国ぬ 国々  
島ぬ 島々 ていりやがーり うすいよ〜。  
大世を照らしている真太陽 (ティダ) のように 国の国々、島の島々を照りかがやき統治する〜。

八重山 「ばしうぬ とっりうぶし」 (わしの鳥節)

〜 しょんぐわじうぬ しうとっむでい ぐわんにちうぬ 朝ばな あがるかい  
飛びちうけ ていだば かめ まいちうけ。  
(7・8番の歌詞) 正月の早朝に 元日の朝まだきに  
(若わしは) 東の方に飛んでいった太陽をいただいてまて行った。

※与那国では、正月には中南部と同じように「かぎやで風」がうたわれるのが一般的です。

中南部 むーちー ちゅくてい, とうしぬ

かじぬ むーちー さぎらな。

むーちーを作って, 年の数のむーちーを下げよう。



旧れきの12月8日は「むーちー」を食べる日です。「さんにな(月桃)」の葉に包まれた「むーちー」は, よい香りがする, おいしい食べ物ですね。また, みんなの年の数だけヒモで結んで天井からつるす風習もあります。またこの時期は, 「むーちーびーさ」といって, 一年でも寒くなる季節でもあります。おいしい「むーちー」をたくさん食べて, 身も心も暖かくなりましょう。

むーちー うふおーく ちゅくてーぐとぅ ちゅふあーら かみよー。

むーちーをたくさん作るから, お腹いっぱい食べてね。



あいえー, まーさぎさんやー。  
とー, ていーちえー かりんーら。  
ああ, おいしそうだね。  
それでは, ひとつ食べてみよう。

北部 うりむちー とうくてい,  
とうしぬ かじ うりむちー さぎらー。

うりむちー ふおーく とうくてくとぅ,  
わたみちゆか くえーよー。  
むーちーをたくさん作るから, お腹いっぱい食べてね。

まーはぶちやげらはぬ。だー, ていーち くわーてい んだー。  
おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。



メ  
モ

宮古 むっちゅう ちゅっふい, とうしぬ かずだき  
むーちーゆ さぎやー。

むっちゅう うばーた ちゅっふい うきば ばたーんちゅきや ふういよー。

むーちーをたくさん作るから, お腹いっぱい食べてね。

あがんにや(あば), んまぎやー。あら, ぴゅていーちゅ ふういみー。

ああ, おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。

(※最近では 宮古の家庭でもムーチーを作ったりしますが,  
本来, 宮古にはムーチー行事は行われていませんでした。)



八重山 むつば つくり とうすぬ かず  
さげー みやーむー。

むーちー たかーに つくれーりきー ばだぬ んつんけん ほういよー。

むーちーをたくさん作るから, お腹いっぱい食べてね。

いびー, んまさんがしゃーそー。あんずかー  
ぴていーず ほうい みやーむー。

ああ, おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。



与那国 むてい つくいてい, とうちぬ かでい  
さんぎるん。

むてい まーしく づくいあんがら, ばた んくた はいばえー。

むーちーをたくさん作るから, お腹いっぱい食べてね。

あー, まーさんぎさんがえー。いた づとうち はいんぬー。

ああ, おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。



ちゅーや しーみー。するてい はかめーが いか。  
今日は清明祭。みんなで墓参りに行こう。

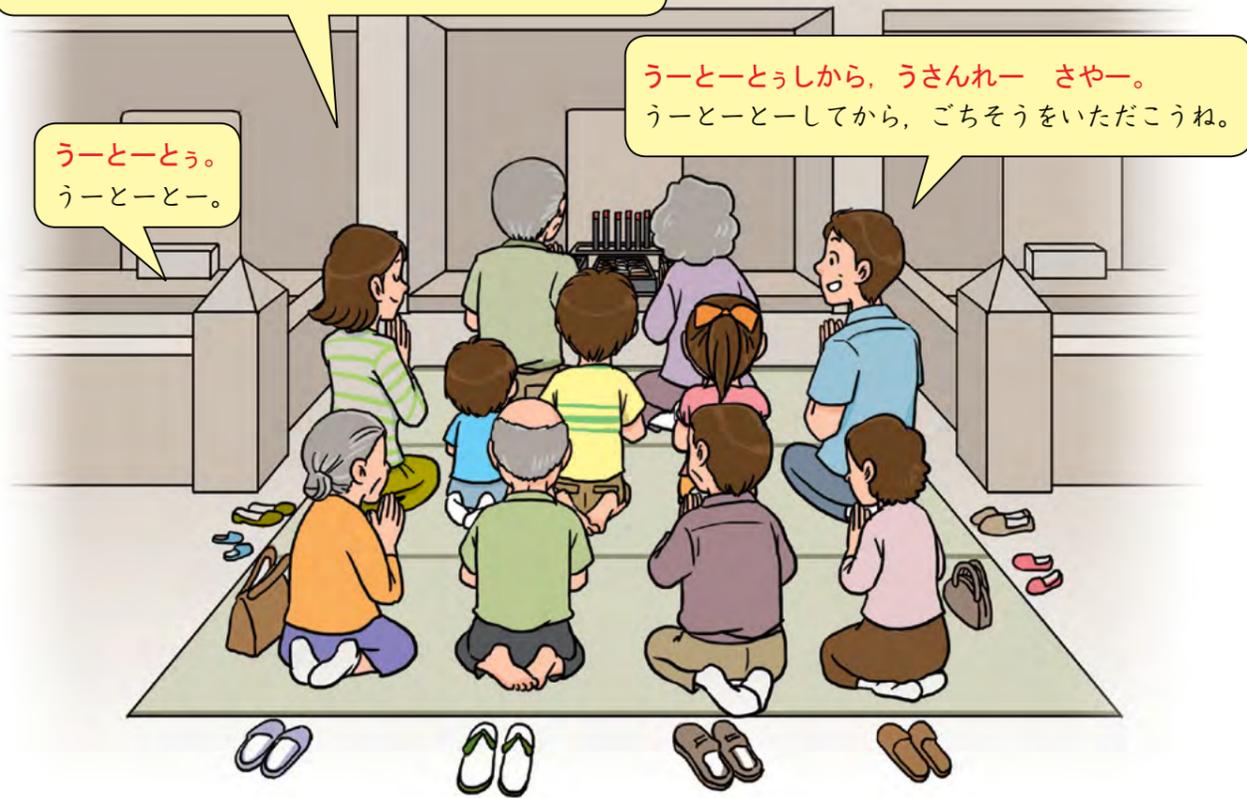


沖縄島では、4月のはじめに「しーみー（清明祭）」を行います。そのときは、家族や一族が集まって墓参りをして、ごちそうをお供えして、ご先祖さまを供養します。

うやふぁーふじんかい うーとーとぅしえーやー。  
ご先祖さまに、うーとーとーしなさいね。

うーとーとぅ。  
うーとーとー。

うーとーとぅしから、うさんれー さやー。  
うーとーとーしてから、ごちそうをいただこうね。



北 部 ちゅーや しーみー。  
むんどぅり すりてい ふぁかけ いかー。

うやふぁーふじけ とーとぅ しえー。  
ご先祖にうーとーとーしなさいね。

とーとぅ しちから、さんでー さーやー。  
うーとーとーしてから、ごちそうをいただこう。

うーとーとぅ。  
うーとーとー。



×  
モ

宮古・八重山・与那国

今日は十六日祭。みんなで墓参りに行こう。



宮古や八重山、与那国では、「十六日祭（じゅーるくにちー）」が盛んです。「じゅーるくにちー」は、旧れきの1月16日に行う墓参りです。あの世（後生）の正月といわれています。

宮古 きゅーや じゅーるくにちゅ。  
んーなし ぱかんかい いか。

きゅーや じゅーるくにちゅ やーば んまむぬう くーつうい きゅうたいう。  
んーなしー んきぎさーち。  
今日は十六日祭だから、ごちそうを準備してきました。みなさんでおめし上がりください。  
ずー、んーなしー ていーや かみっていから、んまむぬー ぶあー。  
さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

八重山 きゅーや じゅーるくにちゅ  
むるさーり はかかい はらら。

きゅーや じゅーるくにちゅ やりきー こっきー しーりきーだ  
けーらし おいしとーんなーらー。（んこーりよー。んきやーとーりよー。）  
今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みなさんでおめし上がりください。  
でいー、けーらし ていー うさーし こっきー とーらりら。  
さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

与那国 すーや どうぬくにてい。  
ぶーる まどぅん はがんき でいー。

すーや どうぬくにてい どう。うさい しくんき すんどぅ。ぶーるし うやしわれ。  
今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みなさんでおめし上がりください。  
でい、ぶーるし ていー うさしてい、うさい たばらりるー。  
さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

ちゅーから しちぐわち。うんけーさびら。  
今日からお盆。おむかえしましょう。



旧れきの7月13日から15日までの三日間は、お盆が行われます。ごちそうをお供えして、ご先祖さまを供養する行事です。13日の初日は「うんけー（おむかえ）」、14日は「なかび（中日）」、15日は「うーくい（お送り）」の日で、うちかび（あの世で使うお金）を燃やして、ご先祖さまをお見送りします。各地では、「エイサー」や「アングマ」など、お盆ならではのよおしも行われます。

ぶちらん  
(仏さん)  
とーとーめー  
(位はい)



しちぐわちぬ うさぎむん うさがみそーれー。  
お盆のお供え物をおめし上がりください。

うんけー さびら。  
おむかえしましょう。

うさんれー さびら。  
お供えしたごちそうをいただきます。

うーくい さびら。  
お見送りしましょう。



太郎くんの地域では、「エイサー」が集落内を回っています。あなたの地域では、どんなお盆行事が行われているかな。

北 部 ちゅーから しちぐわち。むけーらやー。

しちぐわちぬ うさぎむぬ  
いいちやぎそーれー。  
お盆のお供え物をおめし上がりください。  
うんけー さーやー。  
おむかえしましょう。

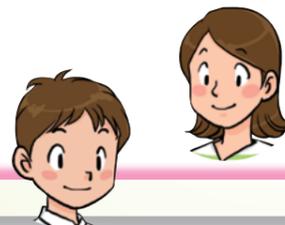
さんでー さーやー。  
お供えしたごちそうをいただきます。  
うーくい さーやー。  
お見送りしましょう。



宮 古 きゅーから しゅとうがちゅー んかいやー。

しゅとうがちゅぬ うさぎむぬう  
んきぎさまち。  
お盆のお供え物をおめし上がりください。  
ずー、んかい。  
お迎えしましょう。

うさぎむぬう ふあー。  
お供えしたごちそうをいただきます。  
うとつもー すー。  
お供えしましょう（お見送りしましょう）。



八 重 山 きゅーから そーろん んかよーら。

そーろんぬ しこーりむぬ  
おいしょーり。  
お盆のお供え物をおめし上がりください。  
んかよーらー。  
おむかえしましょう。

すないだ むぬ（こつきー）  
とーらりんどー。  
お供えしたごちそうをいただきます。  
うーくい さなーら。  
お見送りしましょう。



与 那 国 すーがら する。んかるんどう。

するぬ まっちやる うさい  
うやしわれ。  
お盆のお供え物をおめし上がりください。  
する んかいうやい。  
おむかえしましょう。

まっちやる うさい たばらりる。  
お供えしたごちそうをいただきます。  
する うぐいうやい。  
お見送りしましょう。



中南部 ちゅーや、わん

じゅーさんゆーえー。

ちゅらじん ちやーい うっさん。

今日は、私の十三祝い。きれいな着物を着てうれしい。

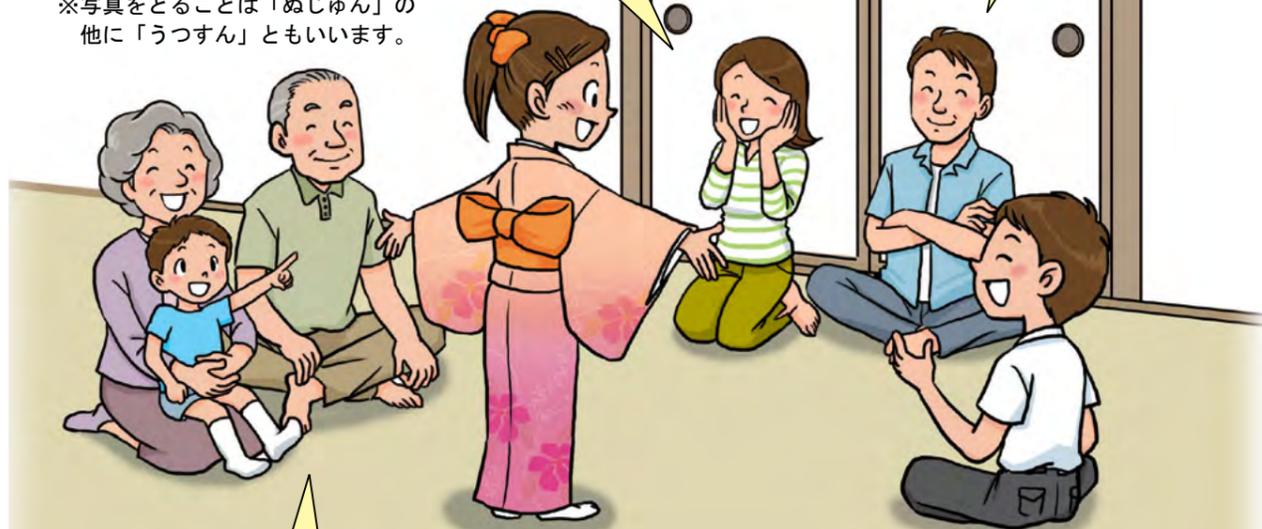


数えの十三歳をむかえると、十三祝いの行事を行います。あなたの家や学校でも、十三祝いをしたことでしょう。比嘉家では、夕希さんが、十三祝いをおかえています。おしゃれをした姿はかわいいですね。みんなは、どのような十三祝いをしたのかな。

ちゅらじん うちやーとーくとぅ  
さしんやーかい さしん ぬじーが いか。  
きれいな着物が似合っているから、写真館へ  
写真をとりに行こう。

※写真をとることは「ぬじゅん」の  
他に「うっすん」ともいいます。

ちゅーぬ ゆーきーや、  
いっぺー ちゅらさんやー。  
今日の夕希は、とてもきれいだね。



すーん あんまーん うっさぎさんやー。  
お父さんもお母さんもうれしそうだね。

北部 ちゅーや、わー じゅーさんゆーいえー。

ちゅーぬ ゆーきや、でーじな ちゅらはんやー。  
今日の夕希は、とてもきれいだね。

ちゅらぎぬぬ うちやとくとぅ、写真やーけ いじ 写真 とぅいが いかやー。  
きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

ちやーちやーん あんまーん うっさぎさんやー。  
お父さんもお母さんもうれしそうだね。



メ  
モ

宮古 きゅーや、ばが じゅーさんよーい。

きゅーぬ ゆーきーや ありやみーん あばらぎやー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

かぎ ぎゅんぬ ぱいーぱい ういば しゃしんやーんかい しゃしんぬ  
とぅいが いか。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

あんなまい、うやまい ぷからしゅきやー。 お母さんもお父さんもうれしそうだね。



八重山 きゅーや、ばー じゅーさんぬよい。

きゅーぬ ゆーきーや あっぱりしゃー そーらー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

きんぬ かいしゃーり にやーりきー しゃしん とぅんな はら。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

びげーん(あっちゃん) ぶねーん(あっばん) さにんしゃんがさー そーらー。  
お父さんもお母さんもうれしそうだね。



与那国 すーや、あなが どーさんぬだい。

すーぬ ゆーきや、あらぐー あびやんがえー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

あびやる んなにんが まーてい んしゃるんがら、  
写真やんき 写真 とぅんでい だい。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

いやん あぶたん あらーぐ しゃなぎどー わるんがえー。  
お父さんもお母さんもうれしそうだね。



<ーロメモ>

沖縄では、自分の生まれた年と同じ干支を生まれ年といいます。丑年に生まれたら、その年が自分の生まれ年になるわけです。また、生まれ年にはお祝いをしますが、そのことを「とぅしびー」といいます。ですから、十三祝いも「とぅしびー」のお祝いになるのですね。十三祝いの次は、25歳で、そのあとは37歳、49歳、61歳、75歳、97歳になります。



んかしんちゆぬ いくとぅば てーしちに しょー。  
昔の人たちのことわざを大切にしなさい。



あわていーる なーかー よーんなー (うていちき)

「急いでいる時こそ、ゆっくり(落ち着いて)。」急いでいるときこそ、冷静に落ち着いて行動しなさい。  
・急がば回れ ・せいては事を仕損じる

れーじなたん。 がっこー うくりーん。  
大変だあ。学校におくれてしまう。

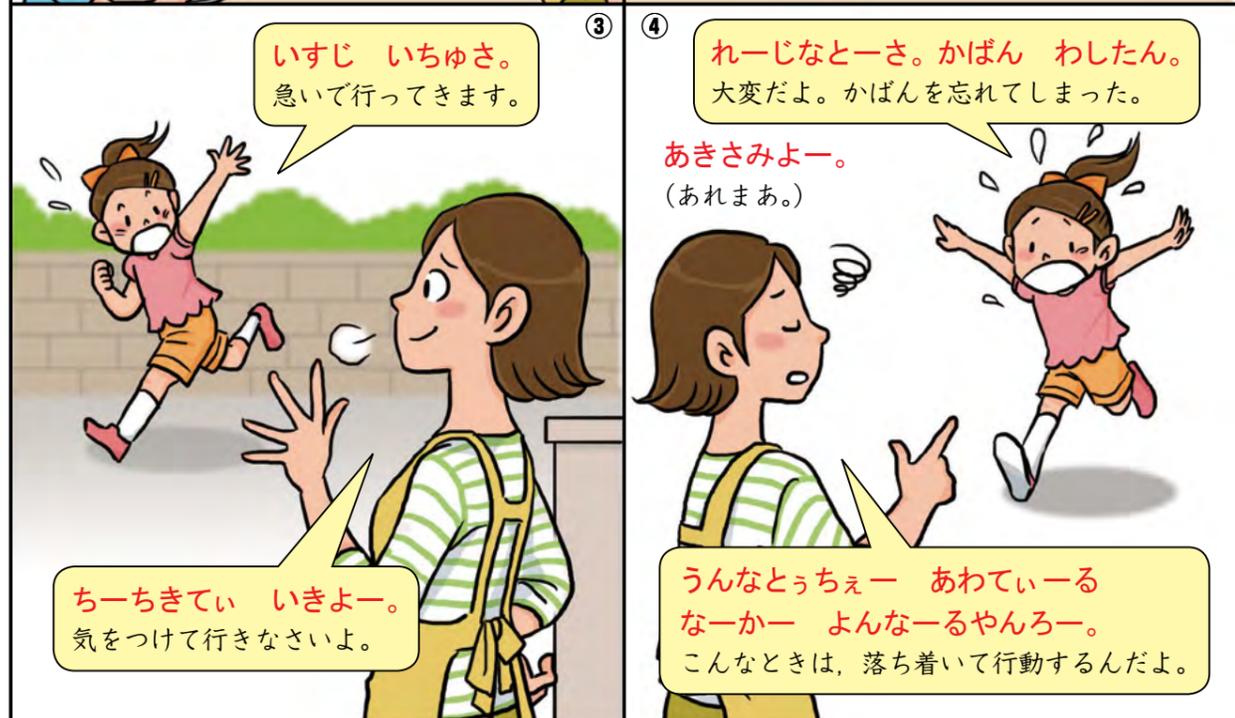
ふえーく うくちくれー  
しむるむんぬ。  
早く起こしてくれたらいいのに。



いすじ いちゆさ。  
急いで行ってきます。

れーじなとーさ。かばん わしたん。  
大変だよ。かばんを忘れてしまった。

あきさみよー。  
(あれまあ。)



ちーちきてい いきよー。  
気をつけて行きなさいよ。

うんなとぅちえー あわていーる  
なーかー よんなーるやんろー。  
こんなときは、落ち着いて行動するんだよ。

メ  
モ

くぬ ふかぬ いくとぅば。(この他のことわざ)

いくとぅばや、てーしちな むん やんろー。(ことわざは、大切なものです。)  
たんめー、はんしーから ならてい んーりよー。(おじいさんや、おばあさんから習ってみようね。)

中南部

- いちやりば ちょーれー。(行きあえば兄弟)  
「見ず知らずの人でも縁あって親しくなれば兄弟のようなもの。」  
・そですりあうも他生の縁
- きらまー みーしが、まちげー みーらん。(慶良間は見えるが、まつ毛は見えない)  
「慶良間列島は見えるが、目に最も近いまつ毛は見えない。」  
・灯台もと暗し
- ぬちる たから。(命こそ宝)  
「命はかけがえのない大事なものである。」  
・命あつての物種
- やーなれーが ふかなれー。(家での習いが、外でもそのままの習い)  
「家でのしつけの悪いのは、よそでもその通り。家でのしつけは外でも自然に現れるもの。」  
・氏より育ち
- いいーつちよー しんぐわんしん こーてい るし し。(良い人は、千貫で買っても友とせよ。)  
「良き友は、大金で買うほどの価値がある。」  
※(お金のこと)  
・持つべきものは友



むかしんちゆーぬ いちえぬ くとぅや わっしていや ならんどー。  
(昔の人のことわざは、忘れてはならないよ。)

北部

- いっくわいなーる うすみじや ぬみる。(一回こそ、塩水も飲む)  
「失敗は一回で十分である。くり返してはいけない。  
(潮も水も同格で、苦くて欲しくないもののとえ)」・前者のわだちはふまず
- むぬ すそーに しーねー、うやふあーふじん すそーに すーすとぅ いいぬむぬ。  
(物をそまつにしたら、親祖父母をそまつにあつかうのと同じ。)  
「物をそまつにしたら、祖先をそまつにするのと同じ。」
- かーみぬ くーよか とぅしぬ くー。(亀の甲より年の功)  
「年長者の豊富な経験は、貴重で尊敬すべきものだ。」  
・老いている馬は道を忘れず
- みみだい？まーぬ ちゆーくーやー。(耳が垂れた馬(大人しそうな馬)こそ、人をかむ。)  
「おとなしそうに耳を垂れている馬が、人をかむものだ。(人は外見で判断してはいけない。)」
- あがいていだる うがみる。さがいていだや うがまん。  
(上がる太陽を拝むもので、下がる太陽は拝まない。)  
「明るいことにこそ、心を向けなさい。細かいことできよくよしてはいけない。」



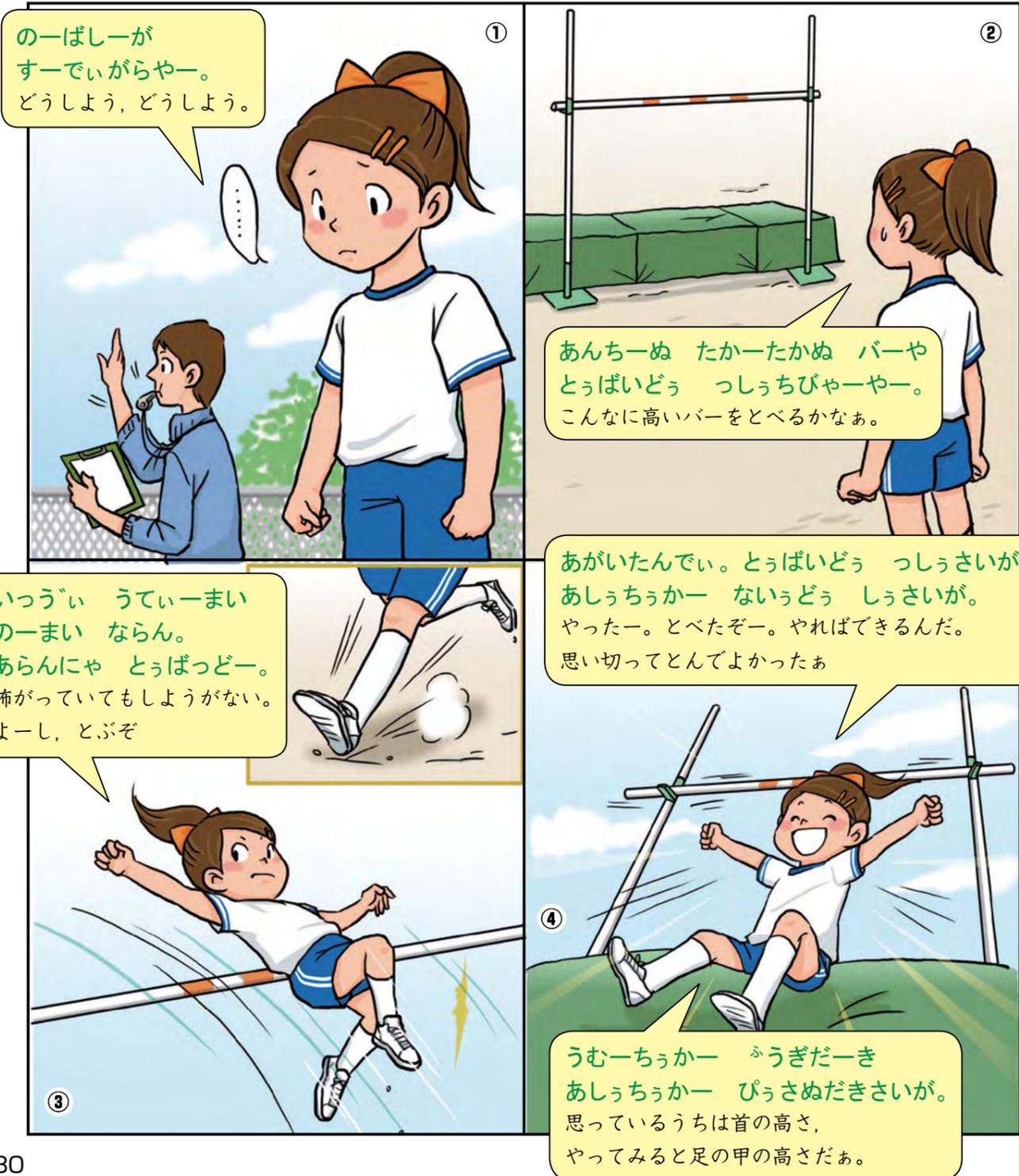
**宮古** んきゃーん ぴうとうぬきゃーぬ  
 んきゃーんじゅくう だいじゅんすー。  
 昔の人たちのことわざを大切にしよう。



うむうちっかー ふうぎうだき あしうちっかー ぴさ だき。

思っているうちは首の高さ、やってみると足甲の高さ

※手をつける前は難しそうに見えても、実際にやってみると、案外たやすくできるものだ。



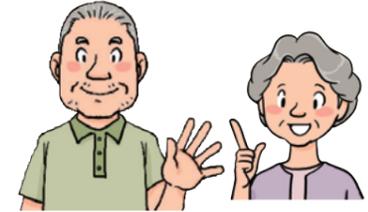
うぬ ぷかぬ んきゃーんじゅく (この他のことわざ)

んきゃーんじゅくや だいじゅなむぬ。

(ことわざは大切なものです)

しゅーたー, んまたーから ならい みーる。

(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう)



**宮古**

● ういびやー うちゅんかいどう ぶりいう。

(指は内側に折れる)

「五本の指が内側に折れるように、兄弟や親せきは、いざというとき協力して、事にあたるものである。」

・血は水よりもこし

● ぴとっだすきやー どーだしうき。

(人助けは 自らを助く)

「他人に対するえん助は、結果として自分へのえん助として帰ってくる。」

・情けは人のためならず

● かなっさどー あばらぎさ。

(<sup>ゆえ</sup>愛故に美しい)

「いとおいしい心で見れば、かわいく美しく見える。」

・あばたもえくぼ

● たかぎんーどー かじやー かかいう。

(高木に風はかかる)

「高い木には風が強く当たるように、優れた者は世間からとやかく言われる。」

・高木は風に折られる

・高木は風にねたまれる

● ぴうとっかたん かなう むぬぬどー, むむかたん かのー。

(一芸にかなう者が、百芸にかなう)

「一つの芸や技にひいでるものは、他の分野でも能力を発揮するものである。」

● やまばとー どーぬ ふうちゅんかいどう ふうーいいう。

(山ばとは自分の口に食われて射られる)

「余計なことを言わなければ、災いを招くことはない。」

・キジも鳴かずばうたれまい

・口は災いの元



**八重山** むかす ぴうとうだーぬ ゆんぐとうや  
あたらさ しーよー。

昔の人たちのことわざを大切にしよう。



いー どうしゅ むちりっかー たたみぬ ぴーりゅ ふむん やな どうしゅ  
むちりっかー ちうななー ぱくん。「善い友だちと仲良くするとたたみの上で良い暮らしができ、  
悪い友だちと交わると、なわめをかけられる。」(「なわめをかけられる」は、「つかまる」ということ。)

ゆーきー まーずん としよかんかい  
はらぬー きゆーぬ しゆくだい  
まーじゆん さーでいー。  
夕希。いっしょに図書館行こうよ。  
今日の宿題、いっしょにやろうよ。

えーことう げーむせんたーかい  
はる かたみ しえーすんが やすんが。  
しゆくだいや あつたらむぬ  
やりきー くとうぱり くいー。  
えい子たちとゲームセンターへ行く約束して  
るんだけど。宿題が大事だから、断ってくるね。



あんじー。かんじー かんがいーか  
みしやーるすず。ならーしひやー  
にふあいどー。  
そうか。こんな風に考えればいいのね。  
教えてくれてありがとう。

いー どうしゅ むちりっかー たたみぬ  
ぴーりゅ ふむん、やな どうしゅ  
むちりっかー ちうななーぱくん。  
本当に、「善い友と仲良くするとたたみの上で良い暮らしが  
でき、悪い友と交わると、なわめをかけられる。」だね。



メ  
モ

7 ことわざ・言葉

**うぬふかぬ むかしむに。(この他のことわざ)**

むかしむに あたらさーる むぬ。  
(ことわざは、大切なものです。)注) むかしむに (ことわざ)  
うしゆまい んみーから ならい みーら。  
(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)



**八重山**

- うやぬくいやー かんぬくいで うむやー ゆぐ しきよー。  
(親の声は神の声と違ってよく聞きなさいよ。)
- ゆくしむねー すーかー ぬすとるぬ はじまるんどー。  
(うそをつくところ 棒が始まるぞ。)  
「うそをつくことが、やがてはぬすみにつながっていく。うそをつくことは、どろ棒と同じように悪いことである。」
- かたちえー にばん きうむぬどう だいいちう。  
(形は二番、肝(心)が第一。)
- いじえーる むねーや ぬまるぬ。  
(言った言葉はのまれぬ)  
「口から出した言葉は、再び口の中へのみ込むことはできない。」  
・口は災いのもと  
・後かい先に立たず
- ふちえーや やふぬ むとう。  
(口は災いのもと。)
- ぱれーや ぬるまぬ。  
(針はのまれぬ)  
「小さいからといって、あなどってはいけない。」  
・さんしょうはつぶでもピリリとからい
- ふしえー ぴとうぬ まりじよー。  
(習へきは、人の生まれ性分)  
「人のくせというものは生まれつきのもので、年を取っても変わらない。」  
・三つ子のたましい百まで
- もーぎぬ たちるかー あーみー ふりんどー。  
(にじの立っているところでは、雨が降っている)  
「何か物事が発生するときには、必ず物事が起きる理由がある。」



**与那国** んかち つとうんたぬ むぬぬたてい  
あたらきりよー。

昔の人たちのことわざを大切にしよう。



どうとうまりる うゆびぬ なーまら あるんに、つとうにや なーなたが あいどう ぶる。

「一晩に生まれた指に長い短いがあるように、人には、人それぞれの性格がある。」

・十人十色



ぬーば きー あんぶんが。  
んまんき ひるんが。  
何して遊ぶか。どこに行くか。

ぬー すむていば どうむかや。  
うんがどう うむつつあんぎさる。  
どの本を読もうかな。これがおもしろそうだな。

あぶたー、すーぬ どういや  
ぬば あい わるかや。  
あぬん ていがない きるん。  
お母さん、今日の晩御飯は何。  
私もお手伝いするよ。

どうとうまりる うゆびぬ なーまら あるんに、  
つとうにや なーなたが あいどう ぶる。  
一晩に生まれた指に長い短いがあるように、人には、  
人それぞれの性格がある。

メ  
モ

うぬふがぬ むぬぬたてい。(この他のことわざ)

むぬぬたていや、あたらる むぬどー。(ことわざは、大切なものです。)

あさ、あぶんたがら ならいんにゆー。(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)

**与那国**

●あとうなる むぬんがどう、うぶいゆ ふ。

(後になる者が、大きな魚を食べる)

「人に先をゆずって最後に残った人が、大きな魚を食べることがあるように、人に先をゆずれば、自分に福がやってくる。」

・残り物には福がある。

●いーむぬとち ちりたや いーならいき、だなむぬとち ちりがらや、だないどう きる。

(良い人と付き合ったら良い習慣が身に付き、悪い人と付き合えば、悪い習慣が身に付く)

「交際する相手によって、人は感化されてしまう。」

・しゅに交われば赤くなる。

●うやんが うむんに あがみんが うまぬん。

(親が思っているようには、子どもは思っていない)

「親がどれだけの愛情を注いでも、子どもには伝わりにくいものである。」

・親の心、子知らず。

●ていん あがみがらや、かでい くんていどう ある。

(空が赤くなってくると、台風がやってくる)

「天気のことわざ」

●みーみぬ まいぬどう、んたく。

(実らないいねのほが頭を立てる)

「礼ぎを知らなくてはいけない。」

・実るほど頭を垂れるいなほかな。

●きーぬ まんがいや、つかりるが、つとうぬ まんがいや、つかにぬん。

(木の曲がりには使えるが、人の性格の曲がった奴はどこにも使えない)

「もって生まれた性格や性質は、年を取っても変わることはない。」

・三つ子のたましい百まで

●だーならい どう ふがならい。

(家での習いが、外での習い。)

●はいない にちない、どうったい かつたい。

(南か北か、どちらかわからない)

「決断力が無く、いい加減な人を言い表すことば。」



うまんちゅぬ くくるむち ちたゆる くとぅば。

みんなの気持ちを伝える言葉。🔊



しまくとぅばには、私たちの気持ちを表す言葉が数多くあります。中でも「ちむ」は、心の意味で多く使われており、<sup>おきなわ</sup>沖縄の人々の<sup>やさ</sup>優しさを表しています。「ちむ」のつく言葉には、どのようなものがあるか調べてみましょう。

ちむぢゅらさん。

心が清らか。



ちむがなさん。

心からかわいく思う。



ちむふじゅん。

心が満ち足りる。



ちむいちやさん。

心が痛む、かわいそう。



※他にも「ちむしからーさん（心さびしい）」「ちむやむん（心が痛む）」「ちむわさわさーすん（胸さわぎがする、心が浮き立つ）」「ちむのーいん（機げんが直る）」など、たくさんあります。

わね むんどぅりぬ くくるむち ちてーる くとぅわ。



きむぢゅらはん。

心が清らか。

きむがなはん。

心からかわいく思う。

きむ ふいじゅん。

心が満ち足りる。

きむ やみん。きむぐろはん。

心が痛む、かわいそう。

きむしからはん。

心さびしい。

きむ さーさすん。

胸さわぎがする。

きむ のーいん。

機げんが直る。

ばんたがー んーなが きゅむ あらーしゅ くとぅば。



きゅむ やぱ。

心やさしい。

きゅむぬ すくから かなしゅっさていどう  
うむいう。

心からかわいく思う。

きゅむ んていーんてい。

心が満ち足りる。

きゅむぬどう やむ。ちゅんだらーしゅ。

心が痛む。かわいそう。

きゅむさがい。

(きゅむさびゅしゅむぬ)

心さびしい。

きゅむ やむ。

心が痛む。

んみ とぅとぅみきゅ。

胸さわぎがする。

きゅむ のーいん。

機げんが直る。

ばがだー けーらぬ うむいゆ ちゅたいる くとぅば。



きゅむぬ やふあさーん。

心やさしい。

きゅむから かなさーん。

心からかわいく思う。

きゅむ ふぎるん。

心が満ち足りる。

きゅむんぐりしやーん。

かわいそうである。

きゅむしかさーん。

心さびしい。

きゅむぬやむん。

心が痛む。

きゅむあーりゅ、きゅむさわぎゅ。

胸さわぎがする。

きゅむ のーすん。

機げんを直す。

ばんた ぶーるぬ くぐるむてい とぅんきる くとぅば。



くぐる なたやく。

心やさしい。

くぐるがら あたらき うむい。

心からかわいく思う。

ちむ んてい たらし。

心が満ち足りる。

ちむ だーみ、ちむりさ。

心が痛む、かわいそう。

ちむ さびつっあー。

心さびしい。

ちむ だーみ。

心が痛む。

ちむ ささらんてい。

胸さわぎがする。

きんがい ぬい。

機げんが直る。

中 南 部

な一ふあくとうばー うむさん。 

な は  
那覇言葉は、おもしろい。(その1)



那覇くとうばには、おもしろい表現の言葉がいろいろあります。同じ言葉をくり返したり、同じようなリズムの言葉をくり返したりする表現です。あなたの住んでいる地域には、どのようなおもしろい表現があるかな。

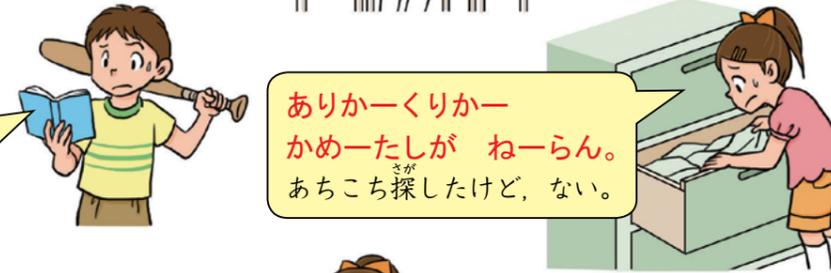


は一えー ごんごんし  
あしろーん。  
走り回って遊んでいる。

※「は一えー」は「走る」の意味で、「かけっこ」は、「は一えーすーぶー」と言います。



にーぶいかーぶい すん。  
うつらうつらする。



ありかーくりかー  
かめーたしが ねーらん。  
あちこち探したけど、ない。



ありやーくりやー  
いちゆなさん。  
あれやこれやで、いそがしい。



うしるぬ ねーんれー  
ちーちーかーかー すん。  
おしるがないと、(食べ物が)  
のどにつかえる。



よーんなーよーんなー  
いちゆんろー。  
ゆっくりゆっくり  
行くんだよ。

北 部 くしくとうわや うっさん。 

ぐわんない しち あすどん。 走り回って遊んでいる。 ※走るは「ぐわんない すん」で、かけっこは、「ぐわんないせー」と言います。	にーうっいかーうっいすん。 うつらうつらする。	ありしーくりしー いちゆなはん。 あれやこれやで、いそがしい。
あまくま かめーたすが ねん。 あちこち探したけど、ない。	よんなーよんなー いちゆんどー。 ゆっくりゆっくり行くんだよ。	しるぬ ねんなね、 ぬでいくーくー しち むぬ うていらん。 おしるがないと、 (食べ物が) のどにつかえる。

宮 古 すま ふうつつあ うむっし。

あいうじゃー みーみ。 言ってみるだけ。	ありやー みーん にうたー にうた。 非常にねむたい。	うりっす かりいすっす てい ぱんたむぬ。 あれやこれやで、いそがしい。
うまかま とみたい すがどう にやーん。 あちこち探したけど、ない。	ぬかーぬか まーりよー。 ゆっくりゆっくり 行くんだよ。	するぬ にやーだかー んみ くずーくずどう しう つしう。 おしるがないと、 (食べ物が) のどにつかえる。

八 重 山 しうまむねーや うむっさん (うむっさーそー)。

かきちうきつくなーし さー。 走り回って遊んでいる。 ※「がすけー」は、走るの意味で、かけっこは、「かきちうきつくなー」と言います。	しかいと にびうったさーん。 非常にねむたい。	ありんくりんし ぱんたさん。 あれやこれやでいそがしい。
あまーん くまーん とうみだすが ねーぬ。 あちこち探したけど、ない。	よーりうよーりう、 はりよー。 ゆっくりゆっくり、 行くんだよ。	するぬ ねーなーかー ぬまるぬ (ふあーるぬ)。 おしるがないと、 (食べ物が) のどにつかえる。

与 那 国 どうなんむぬいや うむつつあん。

あいていらしきー あんびぶん。 走り回って遊んでいる。	あらーぐ にんたどう ある。 非常にねむたい。	いるま かるまし はんたさぬ あれやこれやでいそがしい。
うまかま みきたんがどう みぬん。 あちこち探したけど、ない。	どうりー どうりどう ひるどう。 ゆっくりゆっくり、 行くんだよ。	ちるんがみぬと はいむぬんが ぬどうんき ちまるん。 おしるがないと、 食べ物が のどにつかえる。

中南部

な一ふあくとうば一 うむさん。
なは
那覇言葉は、おもしろい。(その2)



那覇くとうばには、くり返しの言葉だけでなく、他にもおもしろい表現があります。「さ一」や「一」をつける言葉です。この「さ一」をつけると、〇〇する人、〇〇な人という意味になることがあります。どのような「さ一」のつく人がいるかな。

Illustrations of people with speech bubbles:
- ちょ一ぎな一 ひょうきん者。
- たんちや一 短気な人。
- やふあら一 病弱な人。
- まぎ一 大きいもの。
- わたまぎ一 お腹の大きい人
- あみりか一 アメリカ人。
- ※やふあらがんじゆ一むん (病弱そうだけど健康な人)
- やふあやふあ一とう (やわらかく、優しく) などとも使います。
- ※昔は、「うらんら一 (西洋人)」という言い方もありました。
- ※ふるまぎ一 背の高い人

宮古 しうま ふうつつあ うむっし。(その2)



- いんしゃ一。 犬を売買する人。
わ一しゃ一。 豚を売買する人。
うやきや一。 金持ち。
ま一すや一。 塩屋。
びよ一ざ。 病弱。
うぼ一ぶ。 大きいもの。
ぶどお一 うぼ一ぶぬびう とう。 背の高い人。
うふばたびうとう。 腹の大きい人。
あみりかびうとう。 アメリカ人。



八重山 しうまむね一 うむっさん (うむっさ一そ一)。

- ぴらしゃ一。 短気な人。
たんきうむぬ。 短気な人。
まぎ一。 大きいもの。
うらんだ一。 アメリカ人。
たき一ぬ たかさ一る ぴうとう。 背の高い人。
ばだぬ まいしゃ一る ぴうとう。 お腹の大きい人。
びよ一ざ一。 病弱な人。
びや一らがんじゆ一。 病弱そうだけど健康な人。
※びなさ一すんにや一し うすなががんじゆ一ど一。 病弱そうにしているががんじょうだよ。
※「や一ら一や一ら一」 (柔らかく、やさしく) などとも使います。



北部 くしくとうわや うっさん。(その2)



- ちょ一ぎな一。 ひょうきん者。
たんちや一。 短気な人。
ふどまぎ一。 背の高い人。
わたまぎ一。 お腹の大きい人。
あめりか一。 アメリカ人。
※昔は、外国人はみな「うらんだ一」といいました。
やふあら一。 病弱な人。
やふあらがんじゆ一むん。 病弱そうだけど健康な人
※やふあらやふあら一とう。 (柔らかく、優しく) などとも使います。



与那国 どうなんむぬいや うむつつあん。

- はんきむぬ。 ひょうきん者。
ふ一ていんきぬむぬ。 大きいもの。
とっだぎ たがる とう。 背の高い人。
ばたぶた。 お腹の大きい人。
くんどうぐら。 短気な人。
うらんだ一。 外国人
だはらさん。 病弱な人。
だはらさるにてい かんどうさる とう。 病弱そうだけど健康な人。
だらてい一だらてい、 なたやさん。 やわらかく、優しく。



中南部

わったー なーや しまー ぬーんり いーがやー。

私たちの名前や地域いきは何というかな。



わたしたちの名前や、わたしたちの住んでいる地域は、しまくとうば独特の呼び名があります。それぞれの名前や地域が、何て呼ばれているのか、調べてみましょう。

人名

比嘉: ふいじゃ	金城: かなぐしく	宮城: まーぐしく	大城: うふぐしく
伊波: いは	玉城: たまぐしく	勢理客: じっちやく	垣花: かしめはな
喜屋武: ちゃん	長嶺: ながんみ	島袋: しまぶく	玉那覇: たんなふあ
新垣: あらかち			

地名

那覇: なーふあ	糸満: いちまん	知念: ちにん	与那原: ゆなばる
西原: にしばる	石川: いしちやー	浦添: うらしー	佐敷: さしち
首里: すい	南風原: ふえーばる		

北部 わね しまや ぬーでいが つゆーたるやー。



人名

比嘉: ふいが	金城: かなぐすく	宮城: なーぐすく	大城: うふぐすく
伊波: いふあ	玉城: たまぐすく	勢理客: じっちやく	垣花: かしめふあな
喜屋武: ちゃん	長嶺: ながんみ	島袋: しまぶくー	玉那覇: たんなふあ
新垣: あらかき			

地名

世富慶: ゆっくい	喜瀬: きし	名護: なぐ
大浦: ふーら	宜野座: きぬじゃ	伊差川: いじゃしちや
国頭: くんじゃん	底仁屋: すーな	許田: ちゆだー
数久田: したー	辺土名: ふいんとうな	天仁屋: ていんな

宮古

ばんたが なーとうか しまーのーていが あいうがらや。



人名

上地: ういじう	下地: すむじう	嘉手苳: かでいかり	池間: いきま
来間: ふやま	前里: まいざとう	伊良部: いらぶ	与那覇: ゆなば
仲宗根: なかずに	仲村渠: なかんだかり	石嶺: いしうんみ	比嘉: ぴうがー

地名

上野: ういぬ	砂川: うるか	腰原: くしうぱり	西原: にすぱり
添道: すいどー	久松: ぬぎきう	平良: ぴうさら	鏡原: かがんぱり
保良: ぶら	狩俣: かいうまた	細竹: くまだき	野原岳: ぬばりだき

八重山

ばがだー しまぬ なー, むらむらぬ なーや のーでどう あんくかやー



人名

粟盛: あわもり	入嵩西: いりたけにし	請盛: うけもり	慶田盛: けだもり
仲大底: なかおおそこ	成底: なりそこ	南風立: はえだて	
前石垣: まいいしがき	前新: まえあら	本盛: もともり	

地名

東原: あーりばる	伊原間: いばろー	川良原: かーらばる	喜田盛: きだむりう
慶田山: きだやま	崎枝: さきだ	嵩田: たきだー	嵩原: たきばる
白保: つさぶ	登野城: とうぬすく	南後原: はいしーばる	南風見: はいみ
皆野底: みなぬすく	宮良: めーら		

与那国

ばんた なーとう はるぬ なーぬんにば んーどうかや。



人名

大榎: うぶまつちやー	前大榎: うぶまつちやてい	後間: くちま	譜久嶺: ふくみみやー
宮良: みやーら	宮城: みやぐしか	与那原: どうなんばら	石底: いすか

地名

宇良部岳: うらぶだき	立田神: たたがみ	野武原: ぬんばる	嘉田原: かたばる
比川: んでい	帆安: んだん	貫原: くんばる	浦田: うらだ
屋手久: だていく	満田原: まんだばる		

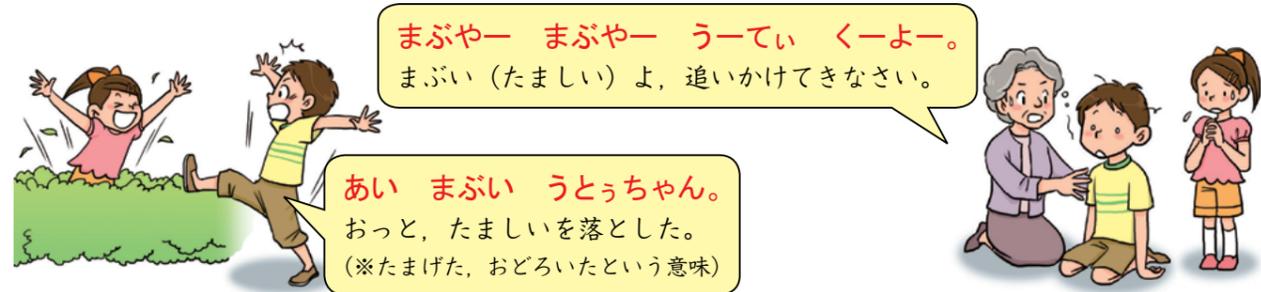
※原は、「ばる」「ばら」「ぶる」の3通りの言い方がある。

中 南 部

わじゃうえー はっちゃからん たみねー。  
わざわ  
災いに会わないためには。



電気や機械化が進んでいなかった昔は、いろいろな災いごとに出ることがありました。人に悪さをする者たち（マジムンといいます）もたくさんいました。ですから、昔の人たちは、災いごとや、マジムンを取り除くための言葉やしぐさを持っていました。どんな言葉やしぐさがあったのかな。



まぶやー まぶやー うーてい くーよー。  
まぶい（たましい）よ、追いかけてきなさい。

あい まぶい うとっちゃん。  
おっと、たましいを落とした。  
（※たまげた、おどろいたという意味）

※とてもおどろいたことがあると、昔の人は、たましいが体から抜け落ちると考えていました。そのときは、マブイグミをして、たましいを元の体に戻してもらいました。今でもやっている人は多いかもしれないね。

なー やーかい  
けーらなやーたい。  
もう、家に帰りましょうね。



あんやれー  
あんまーくーとーさ。  
それなら、アンマークートウー  
しようね。

※赤ちゃんをマジムンから守るための「おまじない」です。「あんまーくーとー たーがん んーらん。あんまーくーとーる  
んーじゅんろー。（お母さんの他は、だれも見ないよ。お母さんだけを見るんだよ。）」と言います。

北 部 わじゃゑーけ ふあっちゃからん たみにや。

にー ふあつたかちゃん  
おどろいた、びっくりした  
※「にー」（胸）



まぶい うーてい  
くーよー。  
まぶい（たましい）よ、  
追いかけてきなさい。

みす ます むっち  
いきよー。  
みそと塩を持っていきなさい。  
※引越しのときなどに、まよけとして持っ  
て行きました。

わらしんぼーちる  
さんや とくたる。  
稲わらでサンを作ったんだよ。  
※久志ではサンは稲わらで作り、「わらしん  
ぼー」と呼んでいました。

宮 古 やふんかい いでやーん たみんな。

あがんにや たまっしょうどう ぴうんがしにやーん。  
おっと、たましいを落とした  
（たまげた、おどろいたという意味）。

たましー たましー ぴんぎいうなよー。  
あわわわわ。  
まぶい（たましい）よ、追いかけてきなさい。

※たましいを体に戻すために、胸をたたいて「たましー たましー・・・」  
と3回ほど唱え、「あわわわ」と言いながら口をたたく。



八 重 山 やなむんかい いかーんよーに すー たみ。

たましー ぬぎーだー。  
たましいを落とした。  
（たまげた、おどろいたという意味）。

まぶいたましー ういくーよー。  
まぶい（たましい）よ、  
追いかけてきなさい。

とー、やーかいはら ぞー。  
もう、家に帰りましょうね。

あっぱーぬ ふかーや みーんなよー。  
あっぱーたんがー みーりよー。  
お母さんの他はだれも見ないよ。  
お母さんだけを見るんだよ。

ふつ ふつ ふつ。  
地しんの際のまじない。



与 那 国 だなむんき とうばらぬ たみ。

はー、たまち うとっしゃん。  
おっと、たましいを落とした。  
まぶやー ういかぎ くゆー。  
まぶい（たましい）よ、追いかけてきなさい。

まー だんき でいー。  
もう、家に帰りましょうね。

※夕方に食べ物を持っていくときなど、マジムンが寄りつかないように葉につくった「つつあ」をそえていました。  
また、重い荷物をと中で置いていくときも、自分の所有物であることを示すために、「つつあ」をそえていました。



『大造たんめーとう がん』 なーふあくとうばさーにかちーねー。  
『大造じいさんとがん』を那覇言葉で書いてみると。

みなさんが、授業で使う教科書。その教科書にのっている作品もしまくとうばで表現することができます。このページでは、ずっと以前からみなさんに親しまれている『大造じいさんとがん』をしまくとうばで表現してみました。教科書にのっている原文と引き合わせて、しまくとうばならではの世界を楽しんでみましょう。

くとうしん、<sup>ざんせつ</sup>残雪おー、がんぬ しんかぬちゃー そーてい、しつたいみーんかい ちゃん。  
残雪んり いーしゅー、いちわぬ がぬんかい ちきらったる なー やん。  
にじりとぅ ひじやいぬ はにんかい、ちゅとぅくるなー、まっしーら そーる きー  
むっちょーたくとぅ、かりゆーろたーから、あん いらっとーたん。

今年も、残雪は、がんの群れを率いて、ぬま地にやってきました。  
残雪というのは、一羽のがんに付けられた名前です。左右のつばさに、一か所ずつ、真っ白な混じり毛を持っていたので、かりゅうどたちから、そうよばれていました。

大造たんめーや、はなぬ しちゃんかい たっちょーてい、あんし、まぎぐいーし、  
がぬんかい あびたん。あんし、残雪が にしんかい とぅり いちゆし、  
さーじゃーとぅ そーる ちらさーに みーまんとーたんり。  
いちまりん、いちまりん、みーまんとーたんり。

大造じいさんは、花の下に立って、こう、大きな声で、がんによびかけました。そうして、残雪が北へと飛び去っていくのを、はればれとした顔つきで見守っていました。  
いつまでも、いつまでも、見守っていました。

棕鳩十 著 小峰書店『大造じいさんとガン』参考

北 部 「大造つんーめーとう がん」くしくとうわち かし んだー。

くたいん、残雪ぬ、がんぬ むり そーてい、くむいけ うりてい つちゃん。  
残雪でい つゆすーや、ていーちぬ がんけ とぅきらったる なー いえーん。  
つびじやい いいぎりぬ ふあにけ、ちゅとぅくるちゅとぅくる、まっしるな  
まっきぎー むっちょーてくとう、とぅいうつちやーたーから、あっち ゆわっとーたん。

大造つんーめーや、ふあなぬ しちゃけ たっち、まぎぐいっち、がんけ あっち  
ゆめかきたん。あっちしち、残雪ぬ にしけ とぅめたっち いちゆす、  
ふありぱりとう しちやる つとぅらし みまむてい ううたん。  
いとうがでいん、いとうがでいん、みまむてい ううたん。

宮 古 「大造しゅーとぅ がん」ぬ  
みゃーくふうちゅし かきみーちゅかー。

くとうすまい、残雪つあ、がんぬ むりーゆ さーりい かーずく (ぬーまずー) ん  
きゅしゅたいう。残雪ていや、ぴうとぅからぬ がんん つきらい うたいう  
なーさーい。んぎう ぴうだいうぬ ぱにぬ ぴうとぅとぅくるなーん  
しゅつそーしゅつすぬ きーぬ まじり うたいうぼどぅ、狩人ぬきやーから  
あんちー、あいうざい うたいうさーい

大造しゅーや、ばなぬ しゅたん たちつてい、かんちー、うぶぐいしー がんかい  
あびうい たい。あんちーしーつてい、残雪ぬ にしゅんかいてい とぅび ぴう  
いすー、きゅむすがいう みばなーしー みーつき うたいう。  
いつがみまい いつがみまい みーつき うたいうどーや。

八 重 山 「大造うしゅまいとぅ がん」  
しゅまむにし かきみよーら。

くとうしん、残雪や、がんぬ むりば さーり、くむるかい きーだ。  
残雪であんくそーやー、ぴとぅがらぬ がんぬ なーゆー。  
ぴだるねーらぬ ぱにに、すそーすの きーば むちうり、とぅるうつから あんじ  
あんかれーだ。

大造しゅーまいや、ばなぬ つたなが たちて、うふくいし、がんかい  
ゆびかきだ。うりから、残雪ぬ にすんたかい とぅびはる むぬば、さにしやーる  
つらし みや うだ。  
いつまでいん いつまでいん、みや うだ。

与 那 国 「大造あさとぅ がん」  
どぅなんむぬいし かていん あしや。

くとうちん、残雪や、がんぬ ぶり すいてい くむいでいんき すたん。  
残雪んでい んどぅんすや、とぅがらぬ がんき つきやる なーどぅ ないぶる。  
んだい にでいぬ はにぬ、とぅとぅぐりん、つだーりぬ まんでい きーんが  
むいぶたばどぅ、かりゆーどぅんたがら、うんに んだりぶたる。

大造あさや、はなぬ つたりん たていてい、くんに、ふーていんきぬ くいし、がんき、  
くい かぎわたん。うんにいしてい、残雪んが にちんき とぅび ひるむぬゆ  
はりぱりとう きぶる ちらし みーまぶい きーわたん。  
いちまでいん、いちまでいん みーまぶい きわたん。

なーふあくとうば ちかてい んーら。

那覇言葉を使ってみよう。



これまで、いろいろなしまくとうばの使い方をみてきました。でも、しまくとうばは、実際に使ってみなければ、身に付きません。そこで、これまで学んできたしまくとうばを使って、実際にしまくとうばを使ってみませんか。まずは、自己紹介から始めてみましょう。

わんねー なーふあ ゆき やいびーん。  
小学校ぬ ぐにんしーやいびーん。  
わたしは、那覇タ希です。小学校の5年生です。



ぬーがな あびてい まーに。  
何か話してごらん。



ちゅーや いいー づわーちち やぐとう  
まじゅーん あしびーが いか。  
今日は良い天気なので、いっしょに遊びに行こう。



ちゅーや あみ ふとーぐとう、まじゅーん びんちよー さな。  
わんにんかいいん、なーふあくとうば ならーち とうらさに。  
今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。  
私にも那覇言葉を教えてちょうだい。



北 部 くしぬくとうわ とうかてい んだー。

わー なーや なが ゆーき。小学校ぬ ごねんせい いえーびん。  
私の名前は名護タ希です。小学校の5年生です。

ぬーげら ふあなししち んでー。何か話してごらん。

ちゅーや いいー づわーとうき いえーくとう、まんंना あすあが いかー。  
今日は良い天気なので、いっしょに遊びに行こう。

ちゅーや あみ ぷとくとう、まんंना べんきよー さー。

くしくとうわ ならーち とうらしえー。

今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。久志言葉を教えてちょうだい。



宮 古 みゃーくふうちゅ つかいみー。

ばがなーや みゃーく ゆき。小学 ぐにんしー。  
私の名前は宮古タ希です。小学校の5年生です。

ぬーがらーゆ ばなし みーる。何か話してごらん。

きゅーや かぎ わーちゅきゅ やーば まーちゅき あすびゅが ずー。  
きょうは良い天気なので、いっしょに遊びに行こう。

きゅーや あみぬ っふい ういば まーちゅき べんきよー すー。  
みゃーくふうちゅ ならーしゅ ふいーる。  
今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。宮古言葉を教えてちょうだい。

きゅーや あみぬ っふい ういば まーちゅき べんきよー すー。

みゃーくふうちゅ ならーしゅ ふいーる。

今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。宮古言葉を教えてちょうだい。



八 重 山 しゅまむに いじみやーむー。

ばー なーや いしがき ゆきーゆー。小学 5ねんしえいゆー。  
私の名前は石垣タ希です。小学校の5年生です。

ぬーんがさ いじ みやーみーり (いじみーり)。何か話してごらん。

きゅーや おーつき かいしゃーりき まーずん あさびな はら。  
今日は良い天気なので、いっしょに遊びに行こう。

きゅーや あーみぬ ふいりき まーずん びんきよー さー。  
しゅまむに ならーし ひーりや。  
今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。島の言葉を教えてちょうだい。

きゅーや あーみぬ ふいりき まーずん びんきよー さー。

しゅまむに ならーし ひーりや。

今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。島の言葉を教えてちょうだい。

今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。島の言葉を教えてちょうだい。



与 那 国 ちまむぬい つかいんぬー。

あんが なーや どうなんゆーきゆ。小学ぬ ぐにんしどう ないぶる。  
私の名前は与那国タ希です。小学校の5年生です。

ぬー あるばん はなしきー んにに。何か話してごらん。

ぬー あるばん はなしきー んにに。何か話してごらん。

すーや いー わしきどう ありやー、まどうん あんびんでい दैー。  
今日は良い天気なので、いっしょに遊びに行こう。

すーや いー わしきどう ありやー、まどうん あんびんでい दैー。

すーや あみどう ふいぶるんがら まどうん びんきゆ きるやー。  
ちまむぬい ならし とうらしんに。  
今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。島の言葉を教えてちょうだい。

ちまむぬい ならし とうらしんに。

今日は雨が降っているから、いっしょに勉強しよう。島の言葉を教えてちょうだい。

